

情報公開文書

研究課題名	小児複雑性虫垂炎における手術時間を延長する因子の検討
研究体制	☒ 長野赤十字病院が責任研究機関となる ☐ 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関：)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u> 当 院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u>
研究期間	(西暦) 承認日 ～ 2025 年 3 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 当科では 2000 年 6 月腹腔鏡下虫垂切除術(以下 LA)を開始しました。同年 8 月には虫垂に穴が開く穿孔や周囲に膿がたまった膿瘍などを合併した複雑性虫垂炎 (以下 CA) にも LA を開始しました。CA 症例では、夜間の緊急手術または準緊急手術になることがほとんどになっており、手術時間の延長は、患児のご家族や外科医・麻酔医、また手術室スタッフの QOL(生活の質)を悪くすることになります。手術時間によって臨床像がどう異なるかを検討したいと思います。 (研究方法) 2000 年 6 月から 2024 年 7 月まで約 24 年間のカルテを調査します。複雑性虫垂炎症例における手術時間の中央値は 121.5 分でした。手術時間が 2 時間未満のグループ 1 と 2 時間以上のグループ 2 に分けて、術前状態を検討して、臨床像の違いを解明し、術中・術後経過についても検討します。
試料・情報	(試料・情報の項目) カルテから情報を得ます。
研究対象者	2000 年 6 月から 2024 年 7 月までに小児外科に入院して手術した患者さん ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目 2 番 1 号 長野赤十字病院 所属 <u>小児外科</u> 氏名 <u>北原修一郎</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439